

Magnetic Wave Guide の導入(4)

1. はじめに

前報(3)に引き続き、Magnetic Wave Guide MC-0.5 のタップ装着テストを行います。

2. Magnetic Wave Guide MC-0.5 の試聴計画

Magnetic Wave Guide MC-0.5 をいくつか対象を選んでテストしていきますが、今回は KOJO のタップに使用してみました。

このタップには、すでに iFi の iPurifier AC がセットされており、iPurifier AC と入れ替えます。従って音質への影響はノイズキャンセラーである iPurifier AC と Magnetic Wave Guide というメカニズムの違ったものの比較ということになります。上記のタップからは、JBL4350A をマルチアンプで駆動するアンプ達とチャンネルデバイダーの電源を採っています。JBL4350A で Magnetic Wave Guide MC-0.5 の効果を次の音源のアナログ再生で確認してみます。

Deutsche Grammophon 483-6927/6928/6929

J.S.Bach Sonatas & Partitas

Nathan Milstein

ドイツグラモフォン MG9551

ベートーヴェン 三つのピアノソナタ (選帝侯のソナタ)

ゲザ・アンダ (ピアノ)

LONDON KLJC-9180/9184 (RTI/キングレコード)

リヒャルト・ワーグナー ワルキューレ全曲

ゲオルグ・ショルティ指揮ウイーンフィル

Angel (東芝 EMI) AA 9117・C

ゲオルグ・フドリッヒ・ヘンデル メサイア

オットー・クレンペラー指揮フィルハーモニア

3. Magnetic Wave Guide MC-0.5 の試聴結果

最初に iFi の iPurifier AC がセットされている条件下で聴き直してみましたが、TruPhase のヴォリュームに VRA-7 を貼り、TruPhase とチャンネルデバイダーを接続する間にアナログアキュライザーを加え、アナログアキュライザーにも VRA-7 を貼っている関係から、どの音源も非常に安定した音質で聴かせてくれます。

KOJO のタップに iPurifier AC を Magnetic Wave Guide に差し替えた直後の Bach の Sonatas & Partitas は、ミルシュテインのヴァイオリンの音がくっきりと立ってきます

す。

選帝侯のソナタは、打鍵のタッチがしっかりしてきます。

ワルキューレは、オーケストラの一音一音がくっきりと浮き立ち、ソプラノやメゾソプラノの声の張りが違ってきます。

メサイアは、合唱の粒立ちがよくなり、弦やシュワルツコップの声もくっきりとしてきます。

iPurifier AC を Magnetic Wave Guide に差し替えた 2 時間後になりますと、Bach の Sonatas & Partitas は、ミルシュテインのヴァイオリンの音の切れ味が冴えてきます。

選帝侯のソナタは、打鍵の切れ味に加えて、響きが豊かになります。

ワルキューレは、音の粒立ちが向上し、迫力が出てきます。

メサイアは、合唱の迫力が増し、シュワルツコップの声の張りが向上します。

iPurifier AC を Magnetic Wave Guide に差し替えた 4 時間後では、2 時間後の状況を維持できています。なお、iPurifier AC が除かれたことによる静寂感の後退は認められません。

4. まとめ

JBL4350A をマルチアンプで駆動するアンプ達とチャンネルデバイダーの電源を採っている KOJO のタップに Magnetic Wave Guide を適用する効果を認めました。

以上